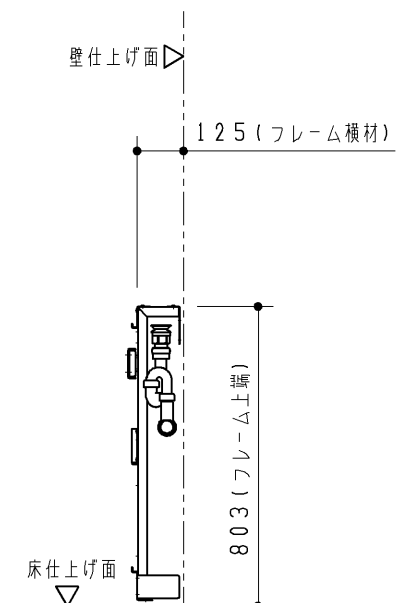
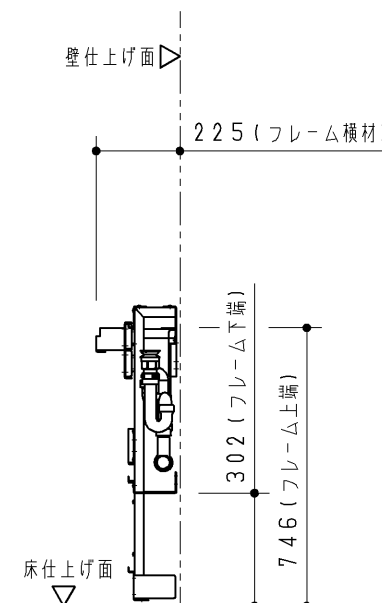
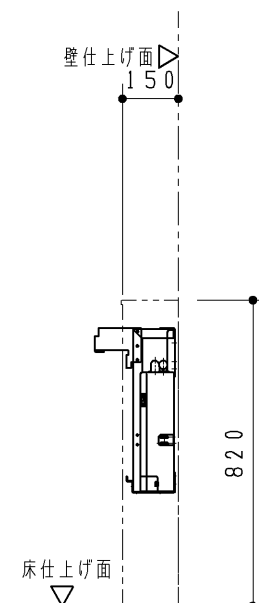
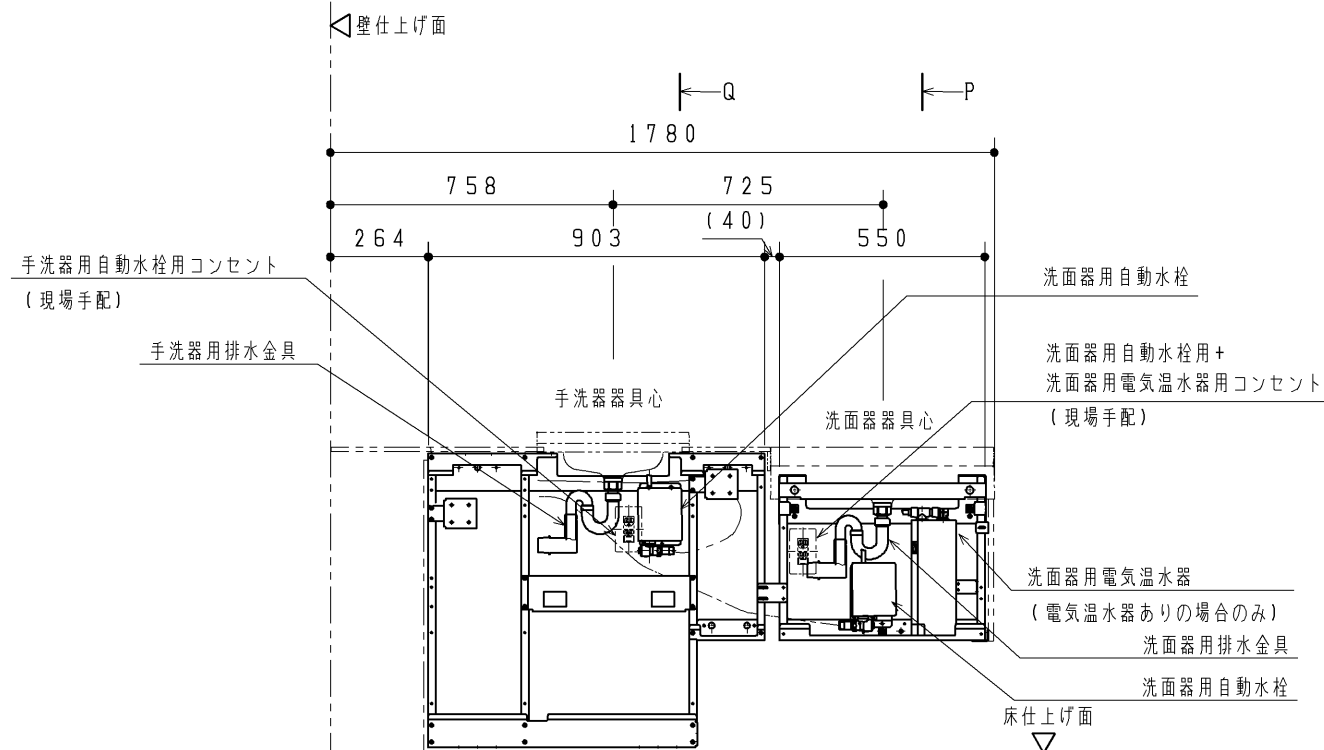


フレーム詳細図

注1：詳細は3枚目をご確認ください。

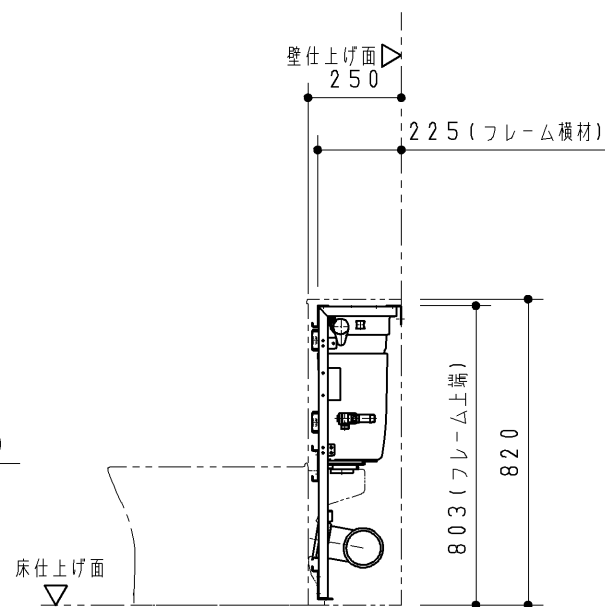
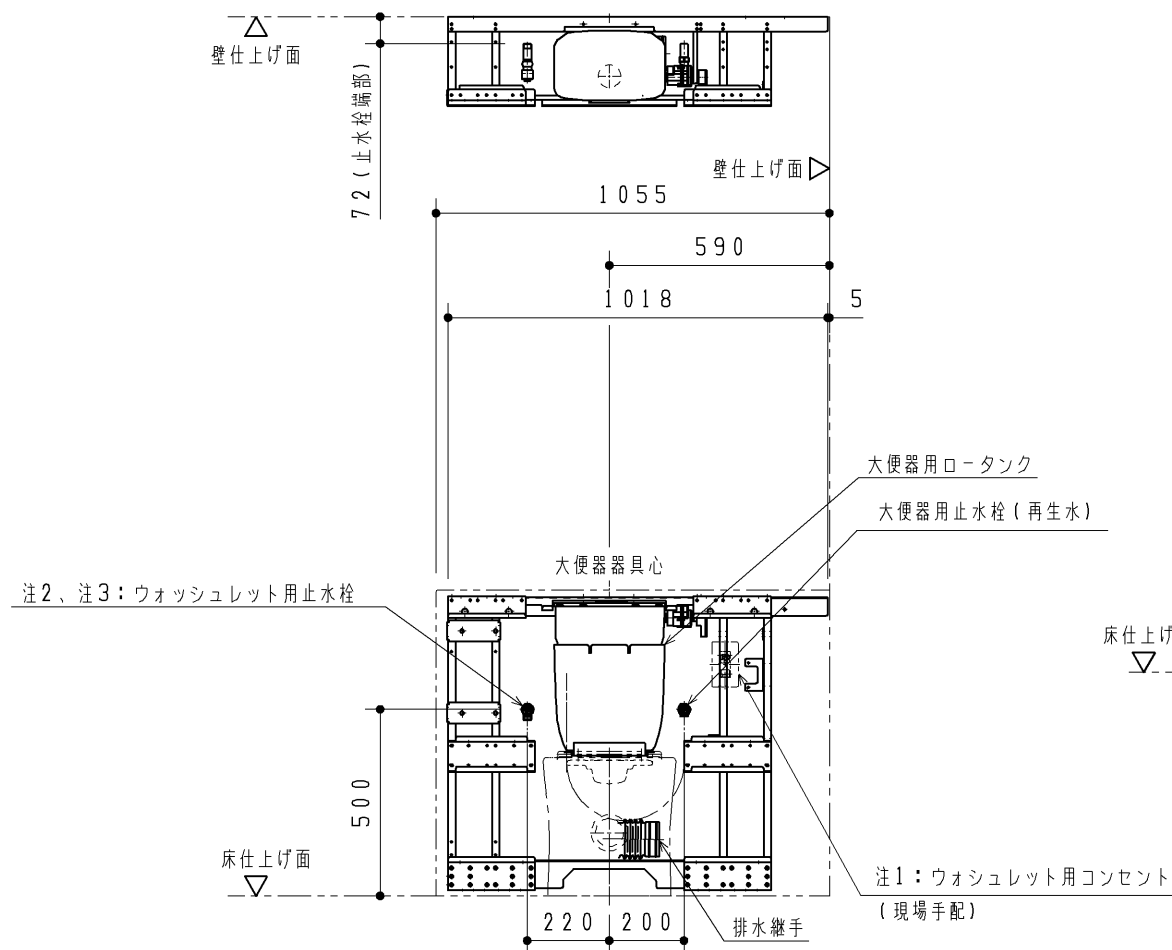
注2：ウォシュレット分岐金具が接続されます。

注3：パウチしびん洗浄水栓付背もたれありの場合は、分岐金具が接続されます。



P 視図

Q 視図

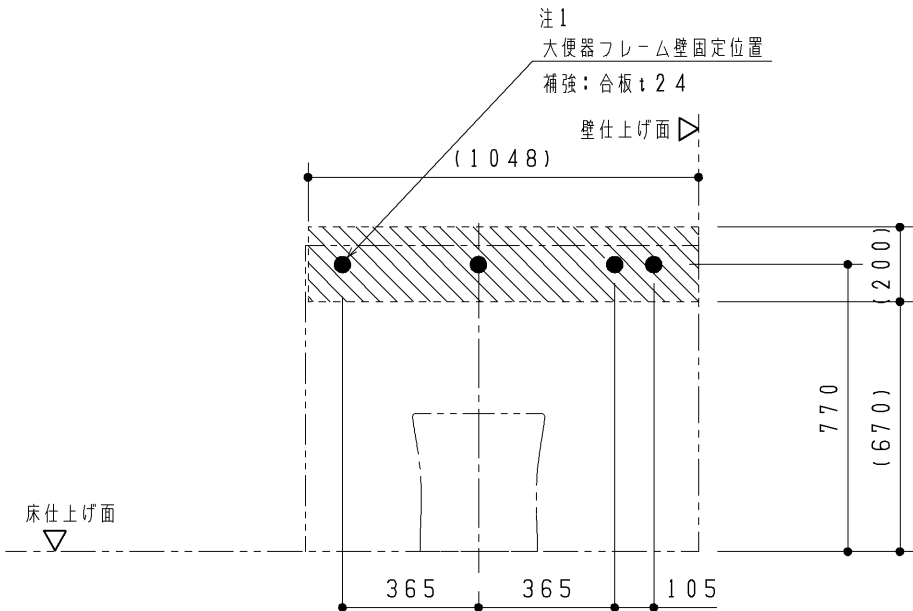


TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレパック フレーム詳細図 (手洗器・洗面器あり/右勝手/再生水)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16. 07. 01	尺度 1 : 2 0	品番 UAD9F3R2C**N***
備考 全5枚中の1枚目				図番 T-UAD9F3R2C=AN==

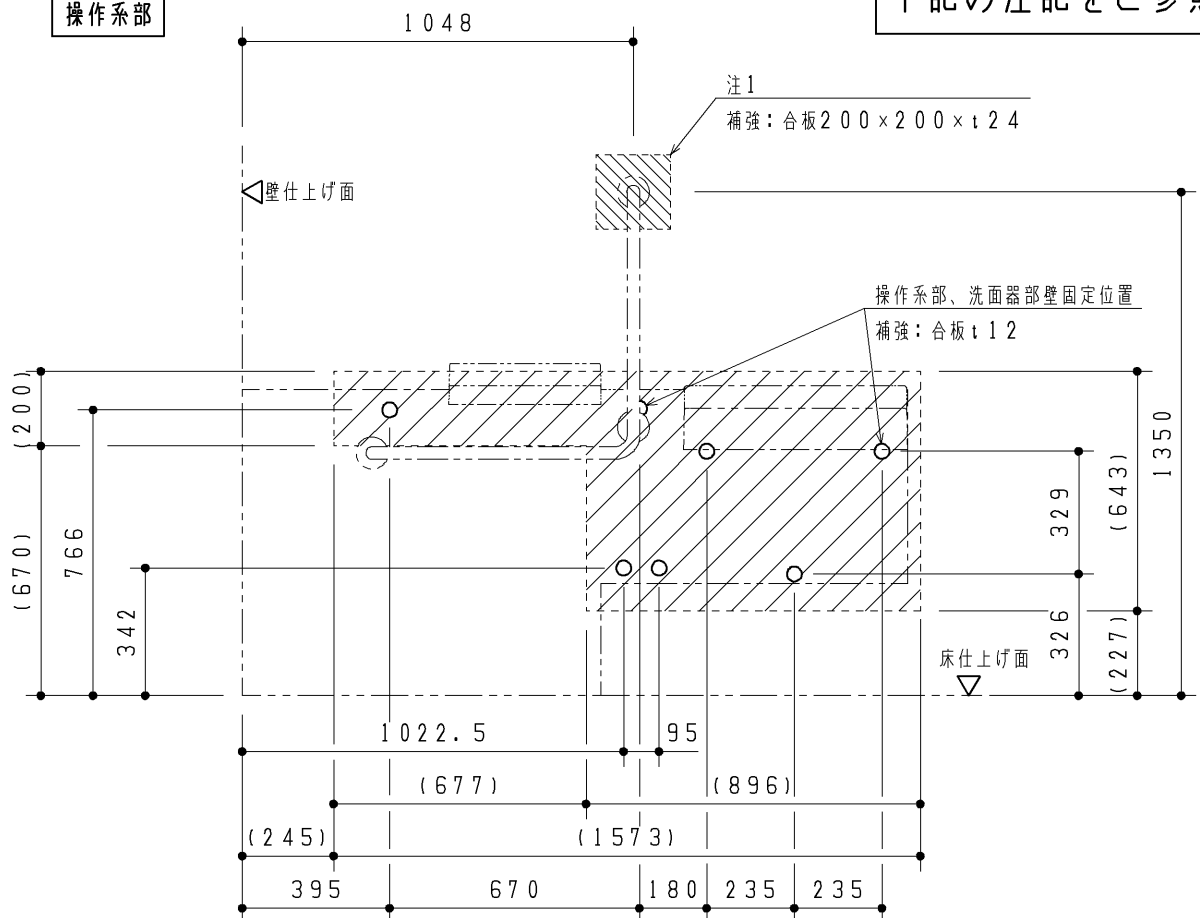
事前施工情報

■壁固定部

大便器部



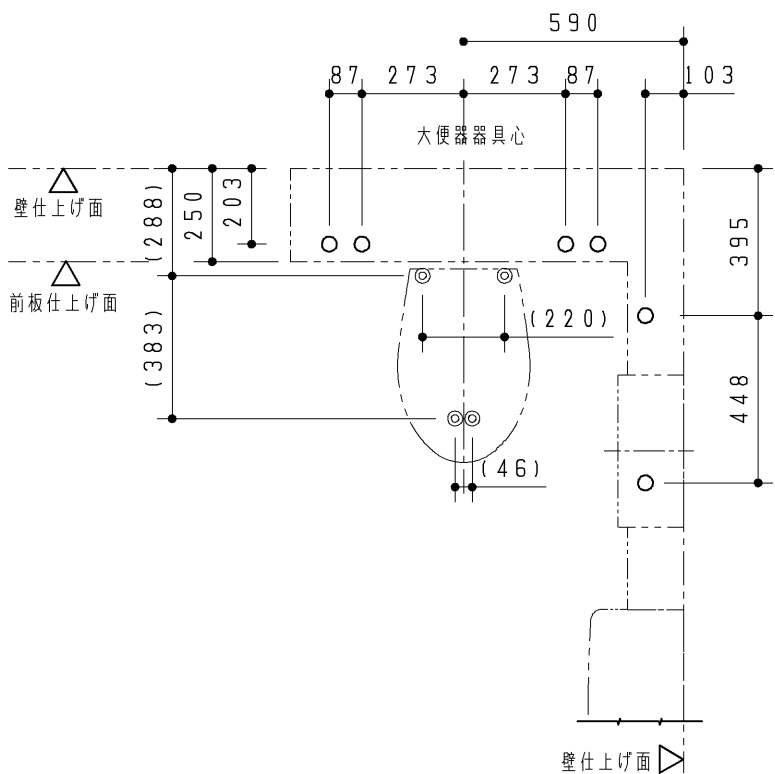
操作系部



壁固定位置には補強が必要となります。
下記の注記をご参照ください。

■床固定部

大便器部・操作系部



注：壁固定位置は、上図に示す○部および●部になります。

下地別の壁固定部材を下表に示します。

壁下地がLGS＋耐水合板の場合、JAS規格相当の耐水合板を使用してください。

注：壁下地がLGSの場合、フレームが強固に固定できるよう

あらかじめ壁に下記の補強をご用意ください。

斜線部、及び斜線部を含めた十分に広い範囲を補強してください。

（斜線部は必要最小限の貼り付け目安を示しています。）

※壁がLGS（H＝4m以下）の場合の補強方法※

（フレーム）

壁下地	壁固定部材	
コンクリート	樹脂プラグ（タッピンねじφ4.5～φ6.2用） 下穴φ8、深さ：55	同梱
LGS＋耐水合板	トラスタッピンねじ φ5×50	同梱

（L型手すり：上部固定4点）

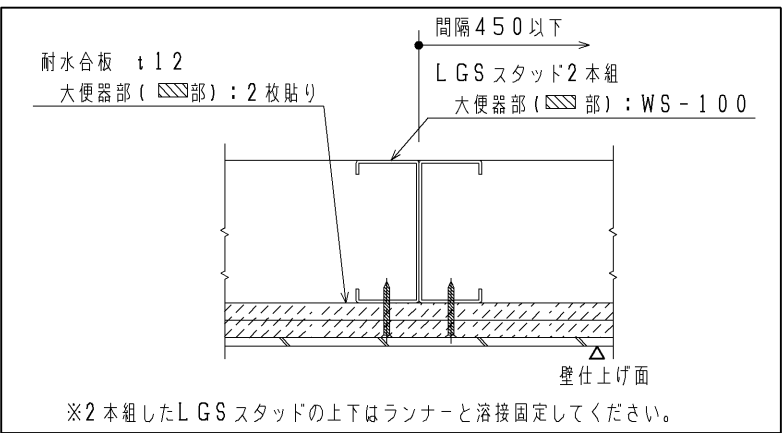
壁下地	壁固定部材	
コンクリート （仕上厚10mm以内）	アンカーボルトM6×85 下穴φ6、深さ：85	同梱
LGS＋耐水合板	コーチねじ φ6×70	同梱

注：大便器床固定位置は、左図に示す◎部になります。

（ ）寸法は目安ですので、現場にて大便器を合わせて下穴を開けてください。

（大便器）

床下地	床固定部材	
コンクリート （仕上厚10mm以内）	樹脂プラグφ4.5～φ6.2用 下穴φ8、深さ：55	同梱



注1：壁下地がLGSの場合、耐水合板t12を2枚

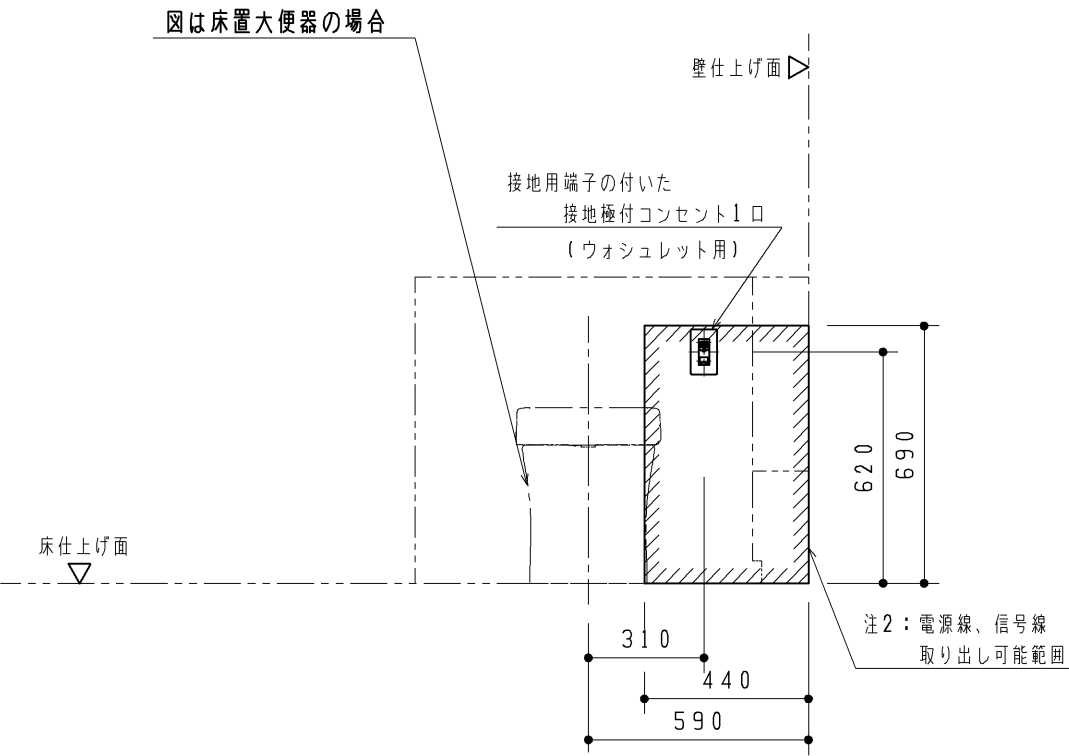
またはt24を1枚貼りしてください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレパック 床置き 事前施工情報 （汚物流しなし・洗面器あり／右勝手）
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16. 07. 01	尺度 1：20	品番 UAÐ9F/Y3R*****
備考 全5枚中の2枚目			図番 H-UAÐ9F3R=====（1	

事前施工情報

電気工事

大便器部



注：各製品の消費電力を確認の上、電気工事を行ってください。部材は現場手配となります。

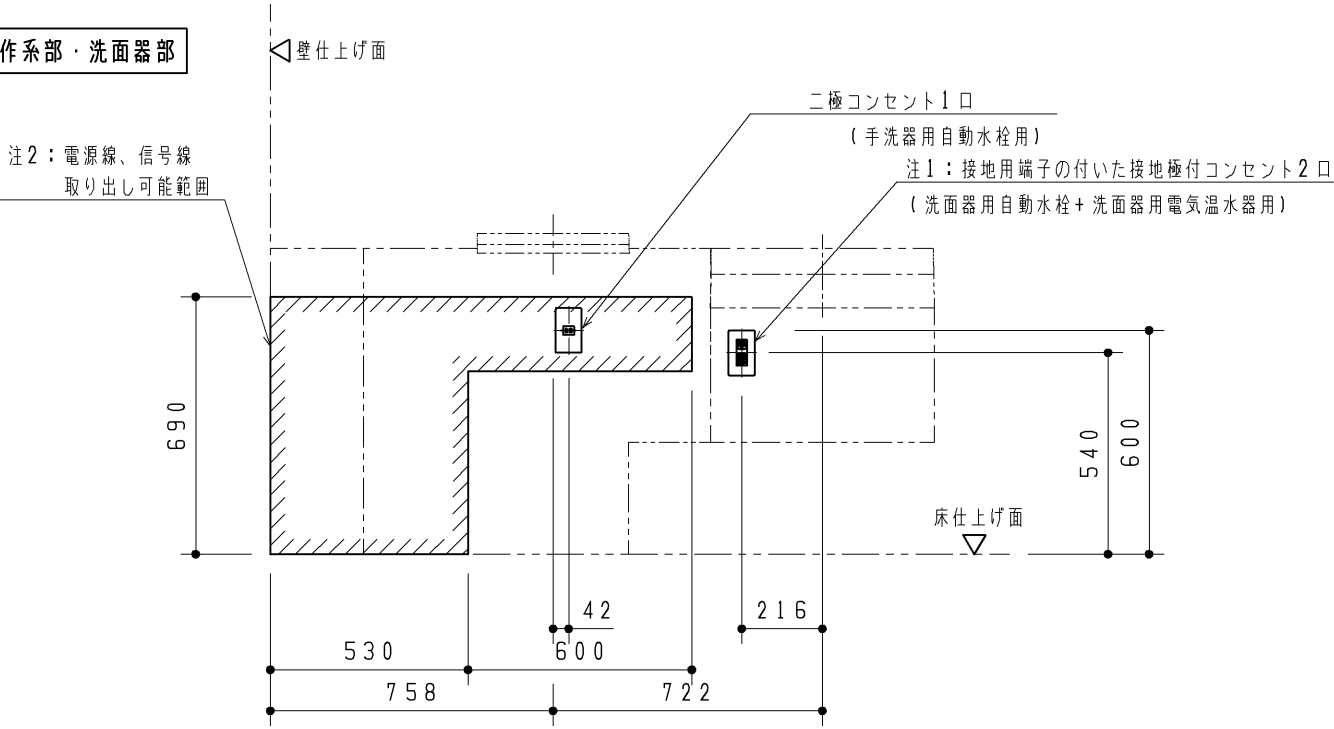
注：内蔵器具・フレームと干渉するため、必ず埋込コンセントを準備してください。（露出コンセントは設置不可）

注1：電気温水器なしの場合は、二極コンセント1口になります。

注2：は呼出しボタン用電源線の取り出し可能範囲を示します。

器具種類	電源	定格消費電力	備考
ウォシュレット	AC100V 50/60Hz	316W	電源コードの長さ：1.0m
洗面器用電気温水器	AC100V 50/60Hz	505W	電源コードの長さ：1.0m、アース線の長さ：1.0m
手洗器用自動水栓	AC100V 50/60Hz	常時0.4W、 作動時0.6W	電源コードの長さ：0.75m
洗面器用自動水栓	AC100V 50/60Hz	常時0.4W、 作動時0.6W	電源コードの長さ：0.75m

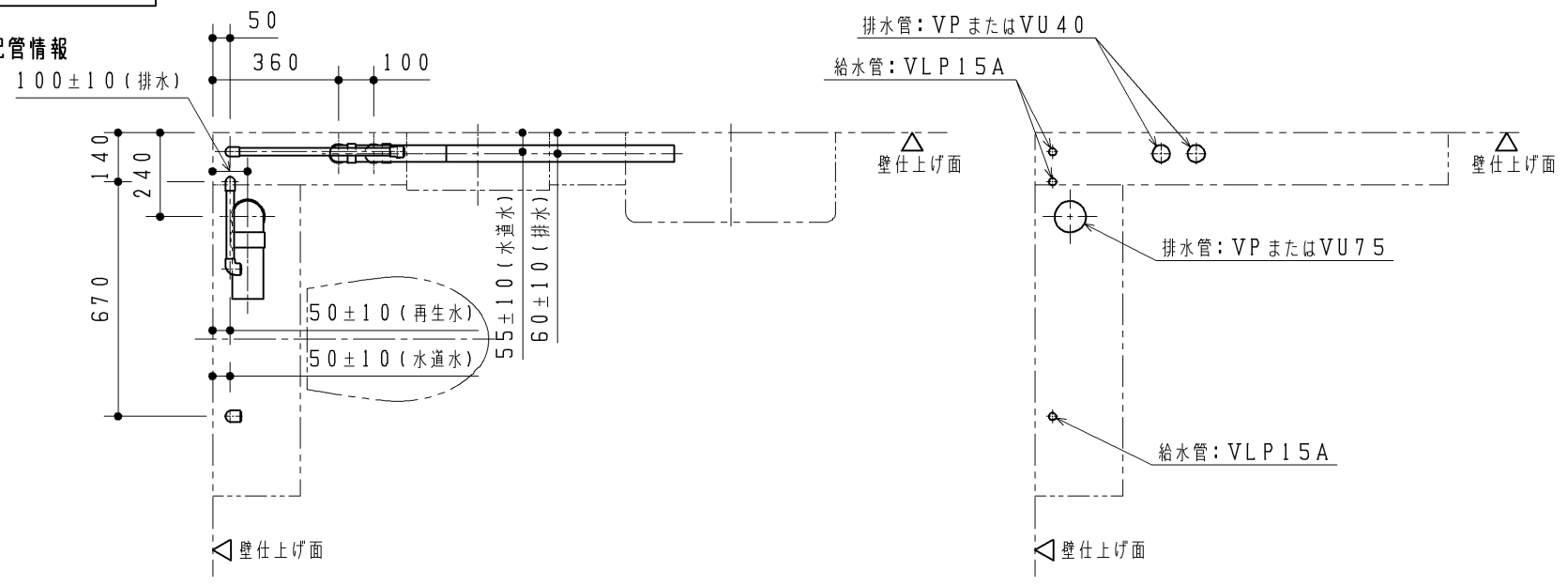
操作系部・洗面器部



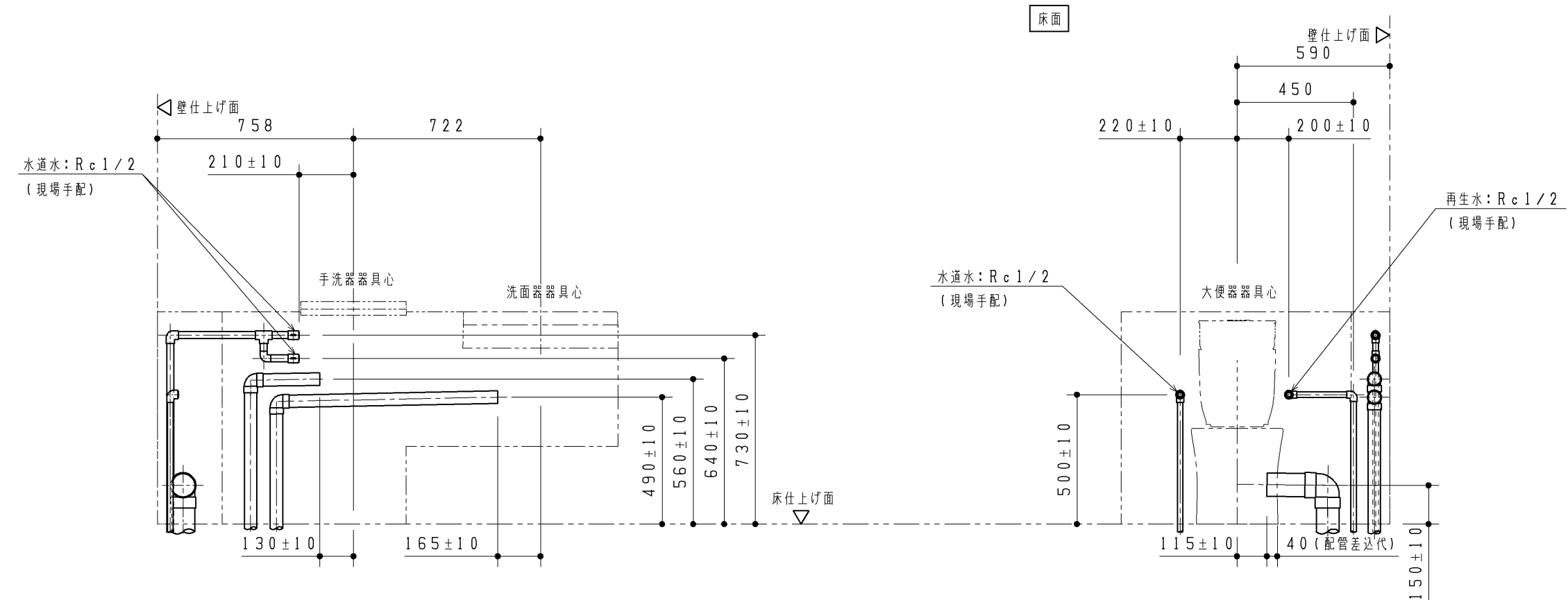
TOTO			第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレバック 事前施工情報 (汚物流しなし・手洗器・洗面器あり/右勝手)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16.07.01	尺度 1:20	品番 UAÐ9W_F3R*A*****	
備考 全5枚中の3枚目				図番 H-UAÐ9W_F3R=A(2)	

事前施工情報

■事前配管情報

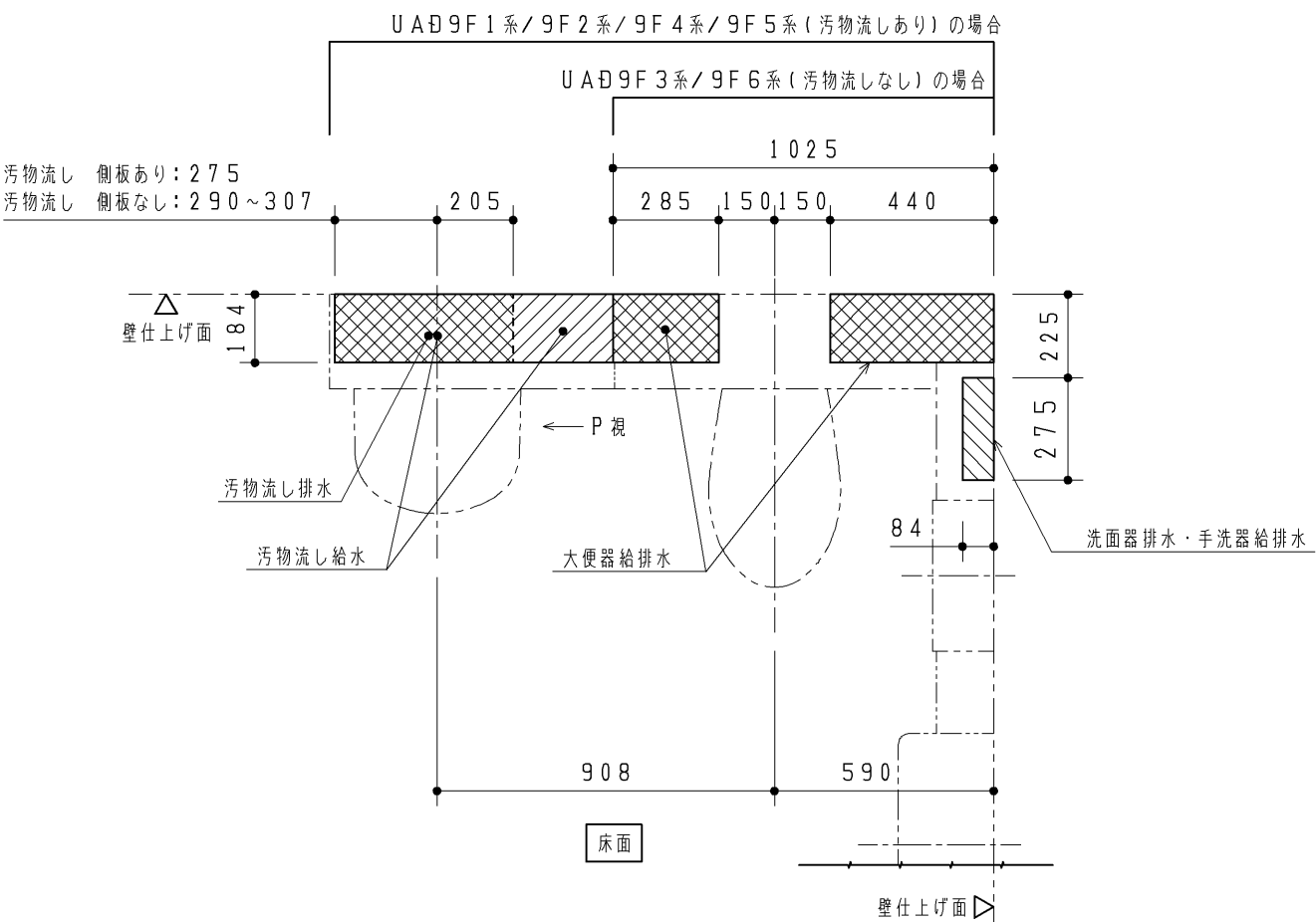


- 注：給水は図に示す位置に末端Rc1/2（4カ所）で準備してください。
- 注：VP75またはVU75排水管は順勾配1/100を、
VP40またはVU40排水管は順勾配1/50を確実に確保してください。
- ライニング内に通気管を通すことができませんので、排水はそれぞれ各個抜きにて準備してください。
- 注：末端は必ず異種金属接続用継手を使用してください。
- 注：配管は躯体壁などに確実に固定してください。
- 注：給水最低必要水圧0.05MPa（流動時）、最高水圧0.75MPa（静止時）
- 注：左図と異なる位置から配管を立ち上げる場合は、本図面5枚目に示す「配管取り出し可能範囲」を参考にしてください。
- また、寸法詳細及び配管の取り回しに関しては、本図面1枚目に示す「フレーム詳細図」を参照の上、内蔵器具、フレームと干渉しないよう注意してください。



TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレパック 床置き 事前施工情報 (汚物流しなし・手洗器・洗面器あり/右勝手/再生水)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16.07.01	尺度 1:20	品番 UA9F/Y3R2A**N***
備考 全5枚中の4枚目				図番 H-UA9F3R2A1=N(3)

配管取り出し可能範囲



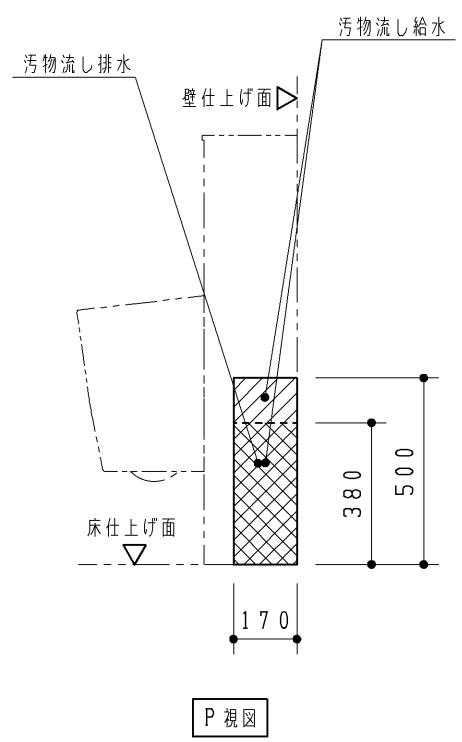
◆本図はフレームや内蔵物に配管外形が干渉せずに取り出せる、床面・壁面の範囲を示します。
図に示す範囲以外は配管が取り出せませんので、注意してください。

【給水管】 ：給水管の外形寸法（保温含む）が納まる範囲を示します。

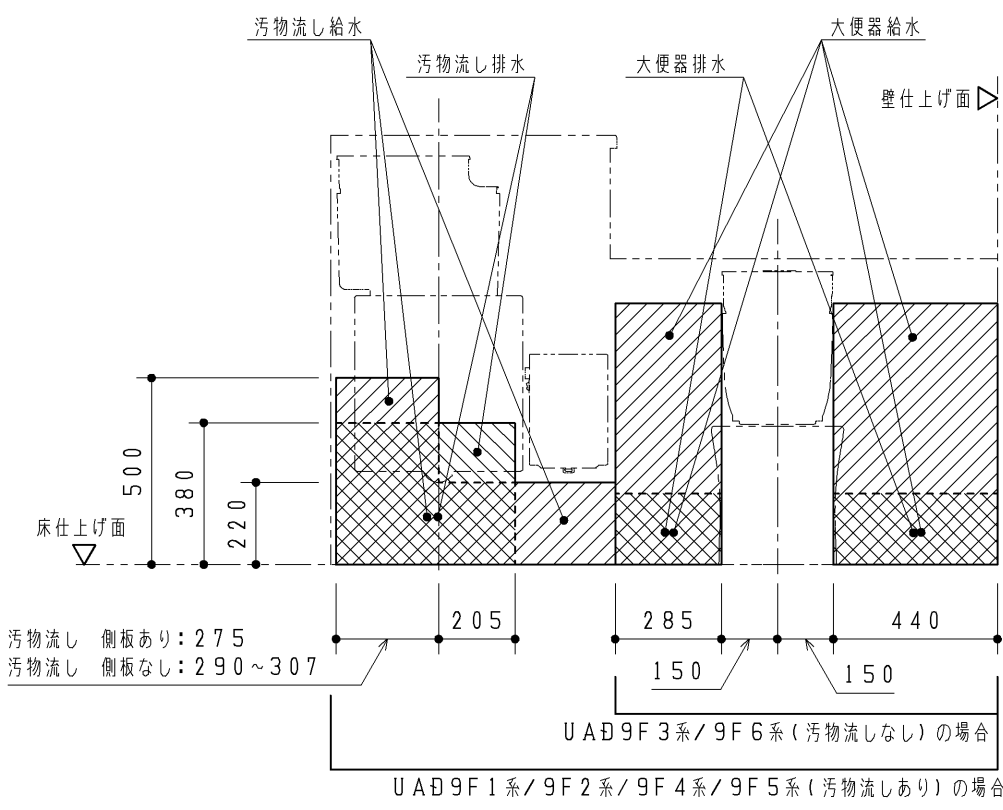
【排水管】 ：排水管の外形寸法が納まる範囲を示します。

※排水管は順勾配を確実に確保してください。
大便器・汚物流し：1/100
洗面器・手洗器：1/50

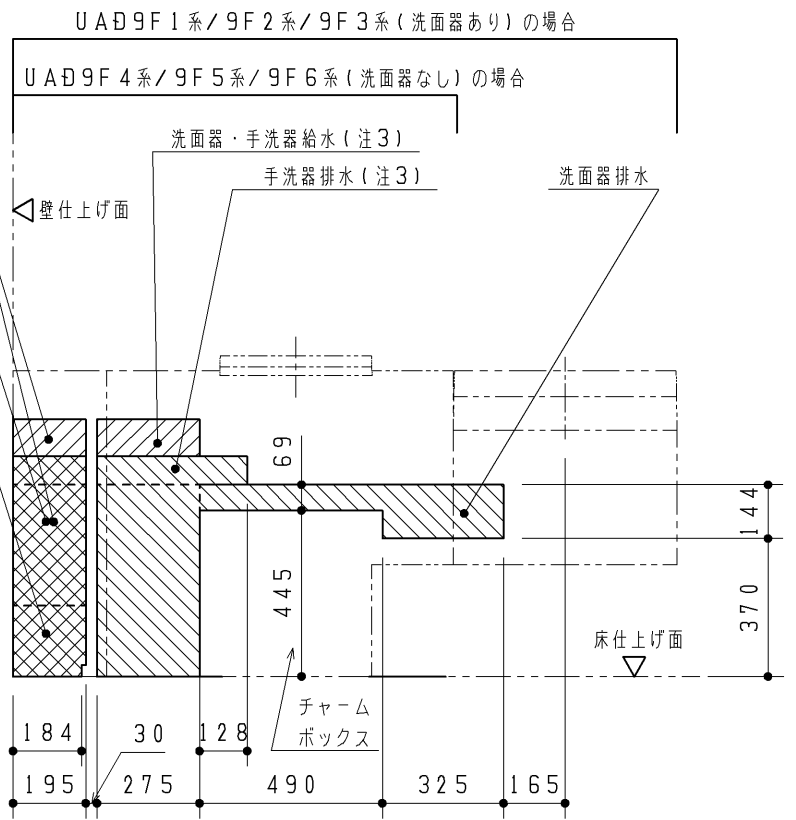
注1：手洗器なしの場合は、大便器給水範囲になります。
注2：手洗器なしの場合は、大便器排水範囲になります。
注3：手洗器なしの場合は、洗面器給水範囲になります。
※大便器排水を真後ろに抜く場合は、HP82S（別途手配）を使用してください。



UAD9F2系・UAD9F5系
（汚物流し側板なし）の場合



大便器給水・洗面器・手洗器給水（注1）
洗面器排水・手洗器排水（注2）
大便器排水・洗面器排水・手洗器排水（注2）



TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレバック 配管取り出し可能範囲 （右勝手共通）
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16. 07. 01	尺度 1：20	品番 UAD9F*R*A***** UAD9F*R*B*****
備考 全5枚中の5枚目				図番 H-UAD9F=R=A=（4）